

マツノザイセンチュウ抵抗性アカマツ品種「播磨の緑」について

平成29年2月

ーマツクイムシに強い品種の接ぎ穂 提供しますー

- 1 兵庫県には、当センター前身の林業試験場時代から取り組みを始め、選抜育種により抜群のマツノザイセンチュウ抵抗性を備えた「播磨の緑」というアカマツ品種があります。（「播磨の緑」の詳細は、別添資料 <http://www.hyogo-nourinsuisangc.jp/sinrin/images/harima.pdf>をご参照ください。）

平成19年に農林水産大臣品種登録となりマツノザイセンチュウ抵抗性にお墨付きが得られ、県が知的財産を持つ品種として独自で苗木増殖に取り組んできましたが、並行し進めてきた実生のマツノザイセンチュウ抵抗性交配品種の採種園も整い実用化できた経緯もあり、品種登録から9年を経た平成28年秋で品種登録を中止するに至りました。

- 2 「播磨の緑」は、主に緑化修景用や、マツタケ施業林向けに用途が限定され、接ぎ木品種でのコスト高もあり、林業用としては活用場がないことになりました。
- 3 つきましては、品種登録を中断＝兵庫県独自の知的財産でなくなったことから、県内外を問わずマツノザイセンチュウ抵抗性抜群のこの品種の活用にトライしていただける研究者・生産者団体等を募ることとしました。

想定する普及方法は具体的には、

<県内外の苗木生産者・造園会社様とは>

- ・本県の持つ採種園の接ぎ穂を提供し、苗木生産

<県内外の大学・公設試験場様とは>

- ・本県の持つ採種園の接ぎ穂を提供し、研究材料として活用

基本的に本県の知的財産が消滅していますので、試験研究用で少量なら無償提供が可能ですし、民間造園事業者でも活用出来得るなら、できるだけご相談に応じたいと考えていますので、よろしくご検討いただきますようお願いいたします。

〒671-2515兵庫県宍粟市山崎町五十波430

兵庫県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター 松本・山瀬

Tel : 0790-62-2118